

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 アールビバン株式会社

コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 栗田 実

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 樋口 弘司

TEL 03-5783-7171

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,021	△7.6	658	68.8	691	59.0	439	76.1
24年3月期第3四半期	4,350	△9.3	389	△45.2	434	△37.2	249	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 548百万円 (172.9%) 24年3月期第3四半期 200百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	33.60	—
24年3月期第3四半期	19.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	16,729	12,615	75.4	964.69
24年3月期	17,205	12,198	70.9	932.77

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 12,615百万円 24年3月期 12,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,170	△8.6	760	78.4	800	48.1	420	—	32.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	15,463,816 株	24年3月期	15,463,816 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,386,612 株	24年3月期	2,386,546 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	13,077,218 株	24年3月期3Q	13,077,270 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により景気は緩やかに持ち直しつつあったものの、欧州財政危機や円高、電力問題、消費税引き上げ問題によるマインド低下への懸念等による先行き不透明感が見られ、依然厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、引き続き、「絵のある豊かな生活（くらし）」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるように営業活動を推進し、基幹の「アート事業」を中心に積極的な営業展開をいたしました。また、経営資源の集中と組織の効率化をテーマに、コスト削減に努め、収益力の改善に努めてまいりました。なお、前年同四半期に計上いたしましたアート関連事業及び金融サービス事業における円高による美術品の評価損の計上がなかったことにより営業利益が大幅に改善しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,021百万円（前年同四半期比7.6%減）、営業利益658百万円（同68.8%増）、経常利益691百万円（同59.0%増）、四半期純利益439百万円（同76.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、新規顧客獲得に主眼をおいた営業活動に注力をし、また、イラスト系グッズ販売におきましては、4月にグッズ専門店としては初の店舗を北九州市小倉に出店するなど、新規顧客の獲得及び取扱アーティストのブランド化に努めてまいりました。

この結果、売上高は2,696百万円（同3.5%増）となり、前年同四半期において計上いたしました円高による美術品評価損の計上もなかったこともあり、営業利益は438百万円（同90.4%増）となりました。

◆金融サービス事業

当社及びその他一般加盟店の顧客に対する個別信用購入斡旋事業を中心に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は531百万円（同3.5%減）となり、前年同四半期において計上いたしました円高による商品評価損等の計上がなかったこともあり、営業利益は290百万円（同38.0%増）となりました。

◆リゾート事業

タラサ志摩ホテルの運営は、前期（3月27日まで）においては「株式会社星野リゾート」の100%子会社に委託し、客室稼働率の上昇に注力した運営をしておりましたが、当期においては、富裕層をターゲットとしたコンセプトの確立や競合との明確な差別化を図り新しいタラサ志摩ホテルを目指すため、ホテルのリニューアルのためたびたび休館を行うなどの準備に注力した運営をいたしましたことにより、販売客室数は大幅に減少となりました。

この結果、売上高は418百万円（同48.8%減）となり、営業損失は137百万円（前年同四半期は70百万円の営業損失）となりました。

◆健康産業事業

フィットネスクラブの新規会員獲得、退会防止及びサービスの質の向上に主眼をおいた営業活動を推し進めてまいりました。

しかしながら、会員獲得数の伸び悩み等により、売上高は378百万円（同1.2%減）となりましたが、前期の固定資産の減損による減価償却費の減少等により営業損失は1百万円（前年同四半期は24百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は14,861百万円となり、前連結会計年度末に比べ422百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が715百万円増加したものの、営業貸付金が260百万円、役員退職慰労金の支給等に伴い現金及び預金が595百万円、それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は1,868百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が132百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は16,729百万円となり、前連結会計年度末に比べ476百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,928百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円増加いたしました。これは主に短期借入金119百万円減少したものの、割賦利益繰延が152百万円増加したことによるものであります。固定負債は185百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,026百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が1,030百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,113百万円となり、前連結会計年度末に比べ893百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は12,615百万円となり、前連結会計年度末に比べ417百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益439百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は75.4%（前連結会計年度末は70.9%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月9日に公表しました通期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,009,848	2,414,459
受取手形及び売掛金	5,871,316	6,587,113
営業貸付金	1,023,392	762,579
商品及び製品	3,835,558	3,814,852
仕掛品	5,863	3,553
原材料及び貯蔵品	28,197	26,103
前払費用	121,675	97,861
繰延税金資産	862,093	857,267
その他	700,157	475,714
貸倒引当金	△173,922	△178,046
流動資産合計	15,284,180	14,861,459
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,413,000	1,412,483
減価償却累計額	△1,040,983	△1,057,267
建物及び構築物（純額）	372,016	355,215
土地	227,722	227,722
リース資産	3,990	3,990
減価償却累計額	△1,064	△1,662
リース資産（純額）	2,926	2,327
その他	361,847	358,106
減価償却累計額	△288,777	△286,716
その他（純額）	73,070	71,390
有形固定資産合計	675,734	656,655
無形固定資産		
その他	5,945	2,888
無形固定資産合計	5,945	2,888
投資その他の資産		
投資有価証券	355,379	492,077
敷金及び保証金	237,347	186,535
繰延税金資産	420,569	288,004
その他	310,567	319,413
貸倒引当金	△84,152	△77,564
投資その他の資産合計	1,239,711	1,208,466
固定資産合計	1,921,391	1,868,011
資産合計	17,205,572	16,729,470

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,439	212,487
短期借入金	361,000	242,000
未払法人税等	37,816	90,451
前受金	959,762	1,062,898
割賦利益繰延	1,454,759	1,607,687
賞与引当金	54,732	25,922
返品調整引当金	34,421	28,617
その他	689,094	658,904
流動負債合計	3,796,026	3,928,969
固定負債		
リース債務	3,072	2,443
退職給付引当金	33,876	36,478
役員退職慰労引当金	1,051,514	21,401
資産除去債務	119,308	121,193
その他	3,753	3,489
固定負債合計	1,211,524	185,006
負債合計	5,007,551	4,113,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,656,000	1,656,000
資本剰余金	6,706,301	6,706,301
利益剰余金	5,159,068	5,467,739
自己株式	△1,328,879	△1,328,892
株主資本合計	12,192,491	12,501,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,529	114,345
その他の包括利益累計額合計	5,529	114,345
純資産合計	12,198,020	12,615,494
負債純資産合計	17,205,572	16,729,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	4,350,647	4,021,043
売上原価	2,293,219	1,694,923
売上総利益	2,057,428	2,326,120
販売費及び一般管理費	1,667,629	1,667,985
営業利益	389,798	658,135
営業外収益		
受取利息	601	577
受取配当金	7,303	4,414
投資事業組合運用益	11,757	1,243
貸倒引当金戻入額	29,618	814
為替差益	—	16,327
その他	19,941	16,331
営業外収益合計	69,222	39,710
営業外費用		
支払利息	6,286	3,385
為替差損	16,426	—
その他	1,376	2,898
営業外費用合計	24,089	6,283
経常利益	434,931	691,561
特別損失		
固定資産売却損	—	88
固定資産除却損	—	1,326
投資有価証券評価損	28,726	—
減損損失	39,530	39,998
特別損失合計	68,256	41,413
税金等調整前四半期純利益	366,674	650,148
法人税、住民税及び事業税	148,156	107,132
法人税等調整額	△30,996	103,572
法人税等合計	117,160	210,705
少数株主損益調整前四半期純利益	249,514	439,443
四半期純利益	249,514	439,443

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	249,514	439,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,634	108,815
その他の包括利益合計	△48,634	108,815
四半期包括利益	200,879	548,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200,879	548,259
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,606,338	543,722	817,176	383,409	4,350,647	—	4,350,647
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	90	6,858	—	—	6,948	△6,948	—
計	2,606,428	550,581	817,176	383,409	4,357,596	△6,948	4,350,647
セグメント利益 又は損失(△)	230,047	210,418	△70,523	△24,354	345,588	44,210	389,798

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額44,210千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート事業」において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第3四半期連結累計期間の減損損失の計上額は39,530千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,696,872	526,968	418,324	378,877	4,021,043	—	4,021,043
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	90	4,297	—	—	4,387	△4,387	—
計	2,696,962	531,266	418,324	378,877	4,025,431	△4,387	4,021,043
セグメント利益 又は損失(△)	438,095	290,422	△137,473	△1,906	589,139	68,995	658,135

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額68,995千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート事業」において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第3四半期連結累計期間の減損損失の計上額は39,998千円であります。